

伝説の魚を追う!

水生生物の実態も調査

幻の魚を探して調査する児童ら



り、タモロコ、コウライモロコなどの珍しい魚を捕まえることができた。また外来種のブラックバスなども捕まえることができた。

水路には、魚や自然を大切にしようとするマンション（縦1段、横2段）が作られている。中には石が詰められ、底には土が敷かれていて、草が多く生え、魚が隠れやすくなっているなど、自然と人間が共存する工夫がされている。

生き物調査をして、私たちは、ほかの生命も大切にしなければ、人間も生きていけないと感じた。この水路をもっと大切にしていきたいと思った。（中野翔太、前田祥汰、森下瑛伍、山本進太郎、吉野遥也）

産局、農村振興課、段関地域、徳島大学から大勢の人がきてくれた。

徳島大学の人たちに魚の捕まえ方などを教えてもらい、川に入って、アミで魚を追いつまむようにして、捕まえようとした。しかし、川が濁っていて、伝説の魚は発見できなかった。その代わ

私たちは6月24日、大津町段関の水路へ生き物調査に行った。大学の先生に、生息している魚について話を聞いた。その中で、この地区の水路に絶滅危惧種である伝説の魚がいることを知った。メダカくらいの大きさだそうだ。

調査には、東部農林水